

## 「安曇野、よいまちつくろう」～ 安曇野を深掘りし、発信します ～

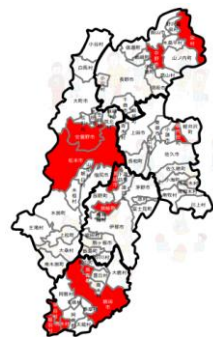
～ウェルビーイング実践校 TOCO-TON に安曇野市の小中学校が選定されました～

長野県教育委員会は、長野県総合 5 か年計画(しあわせ信州創造プラン 3.0)の新時代創造プロジェクト「個別最適な学びへの転換プロジェクト」の一環として「一人ひとりに合った学び実践校(仮称)」について検討を進めてきました。

すべての子どもが「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求するため自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校、それを「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン)」と称し、モデル指定校を募集したところ、38 件の応募があり、10 件(12 市町村教育委員会(5 市 3 町 4 村))の小学校 46 校、中学校 23 校、義務教育学校 1 校が選定されました。この一つに安曇野市から、明科地域の小中学校(明北小、明南小、明科中)が選定されました。

3 校は、「限りない探究心を、園から小・中、さらに高へ！」を掲げ、「あづみの自然保育」から小中学校へと続く主体的・連続的な学びと、明科地域の園小中高と地域の連携・交流で深める絆と郷土愛の醸成を目指すとのこと。令和 7 年度は「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン)」推進の教員を配置するなど実践の環境を整え、令和 8 年度に正式に開始するスケジュールです。

教育現場では、創造性を育むことが重視される一方で、画一的な従来型の学校教育環境をどう変えていくか課題となっていると聞きます。実践校の取組が、子どもたちへどのような影響をもたらし、課題解決の指針になっていくのか、今後の様子を長い目で温かく見守りたいと思います。



TOCO-TON 紹介 (県教育委員会 HP より)

【小林陽子プロフィール】2023 年 4 月～長野県議会議員。穂高在住。

「安曇野を子どもたちが誇れるふるさとに」をテーマに田園風景と人の営みが息づく美しいまちづくりを目指す。2016 年に夫の実家のある安曇野市穂高に U ターン、子育てをしながら野菜中心の家族営農にも取り組む。1971 年栃木県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。趣味はフルート演奏。

発行 小林陽子後援会

事務所 安曇野市穂高 6073-19 番地(安曇野さんさんハウス内)

TEL/FAX 0263-55-7337 e-mail yoko@sunnydayazumino.com

Web ページ <https://www.sunnydayazumino.com/kobayashiyoko.html>

◆Facebook 「小林ようこを応援しよう！」

◆YouTube 「安曇野さんさんニュース」

◆X 小林ようこ(@sunnydayazumino)



Facebook



YouTube



Web ページ



X

## 安曇野さんさん通信 第 27 号

～長野県議会議員 小林陽子活動レポート～

2025(令和 7)年 1 月 15 日発行

年末年始は天候もよく穏やかな年明けでした。本年が災害のない平穏な一年になりますよう、願うばかりです。本年の干支、乙巳(きのとみ)は、劇的な変化の年、ヘビのごとく脱皮・覚醒する年と言われています。

国内外で政治や経済、社会のありようが、AI や DX の進展ともあいまって大きく変化しています。そして足元では物価・資材の高騰、ガソリン価格の高騰などから生活が圧迫され厳しい状況が続いていますが、暮らしやすい地域を目指して取り組んでいく所存です。お気づきのこと、ご意見などをいただければ幸いです。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



### 長野県議会定例会一般質問

昨年 9 月と 11 月の定例会を報告いたします。9 月定例会は、公立中学校の部活動の地域移行など 3 テーマを、11 月定例会は、女性から選ばれる県づくりなど 3 テーマを取り上げました。



一般質問はこちらから視聴できます



### 【9 月定例会】

1. 【公立中学校における休日の部活動の地域移行】令和 8 年度末までに休日の部活動の地域移行完了を目指している。生徒、教員の双方に望ましい姿は。

(教育長) 子どもは多様な活動を選択でき、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しめること、教員は休日部活動の負担が減り、ワークライフバランスを実現して、より良い心身の状況で日々の教育活動に従事できることが望ましい。

送迎、運営費など運営面の課題や、学習要領にある「生徒の自主的、自発的参加」、地域による偏りの是正などどうするのか。

(教育長) 子どもの多様なニーズに応じた様々な活動が展開されることが必要。総括コーディネーターを増員し広域連携の方向性や、ICT を活用した遠隔指導も研究している。

### 2. 【鳥獣害対策】

農業における鳥獣害は深刻化している。被害の大きいサル・シカ・イノシシ対策は。

(農政部長) 令和 5 年度の野生鳥獣による農作物被害額は、果樹と野菜を中心に、速報値で前年比 112% の約 5 億 3 千万円で、シカによる被害が最も多い。鳥獣被害は、営農意欲を減退させ、経営の断念や耕作放棄地の増加につながり、共同活動の低下やコミュニティの衰退、良好な景観形成等の多面的機能の喪失にもつながりかねない影響がある。緩衝帯整備や防護柵設置など地域ぐるみの対策を支援する。

(林務部長) 市町村と連携し『生息状況マップ』や『部分捕獲』など基本的対策の理解促進に努める。サルの行動範囲を把握するため GPS 調査支援や、

(裏面に続く)